

## 夢、私たちに。

# わたしのひとこと



### しゃがみ込む世界

森上 岡山 正春

春から秋にかけて白馬は清々しく素晴らしい。

この時期の庭仕事は私の役目。もともときらいではなかったのも、それなりの手入れはしているつもり。

立っての作業が主であったが、ある時、草茂る場所でしゃがみ込み、枯葉を取り除き、大きくなる草を抜いていた。そして少しのあいだ手をとめ動かさずにいると、今まで見えなかった小さな昆虫、植物、草の花たちが見えた。よく見ると、この50cmの中になんと豊かな世界が広がっていることか。何の芽なのか、この虫はどこに行くのか、少し様子を観てみたくなる。時間を忘れ夢中になる。

人それぞれではあるが、毎年訪れるこの時間を私は楽しみにしている。



### 子育てを通じて

佐野 中村 文子

白馬に生まれ育ち30数年が経ちました。県外に進学して、あらためて白馬の良さを思い知りました。村内で就職し結婚をし、今は、子育てに奮闘する日々です。

子育てを通じて、おとなでは気がつかないことも子どもの目線、感性などから沢山の事を教えられ、母も成長しています。この恵まれた自然の中で、いろいろな体験をさせながら、伸び伸びと健やかに育ってられることを願っています。

私が思うことは、雨や雪が降っても、風が吹いても寒くない、子どもが安心して遊べる開放された屋内施設が村内にあれば、もっと子育てが楽しめるのではないかとことです。

白馬の四季を感じながら子育てできることは私にとって宝であり、このすばらしい白馬が、子どもが大きくなった時も変わらない自然のある村であってほしいと思います。



### グラウンドの充実を!

深空 石原洋一郎

白馬に初めて訪れてから25年が経ち、その当時のスキープームから考えると最近のスキー客の減少には、いまだに寂しさを感じています。しかし昨今、官民挙げての外国人誘致事業で徐々にスキー場は賑わいを取り戻してきているような気がします。

日本人、外国人を問わずスキー客の誘致はこれからも取り組むべき重要な事業ですが、それと並んで夏季シーズンの誘客も必須であると思われます。幸い白馬の自然と宿泊施設の充実度は各種スポーツの合宿や大会には最適である環境が整っています。しかしグラウンドの少なさ、質の面を考えると思い切った誘客に取り組めないのが現状だと思います。

グラウンド整備は民間の力だけでは難しい面が多々あります。スノーハーブ等の利活用を含め行政に是非期待したいと思っています。

## 編集後記

太田議会議務局長さんが退職されました。

議会議務局の仕事は議会を円滑に進めるために、本会議や委員会の事務、会議録の作成、議会だよりの発行、請願・陳情の受付、その他いろいろな議会運営の事務処理をしています。特に事務局長の仕事は多岐にわたり、議会機能の充実・強化・活発な議会活動を的確にサポートする役目や、議会が広く村民の皆さんに、身近なものとなるように議会報の編集アドバイスもその一つです。4年間にわたり大変お世話になりました。教えを糧として、新しい横川事務局長さんと共に更なる身近な議会だよりを目指していきたいと思っています。

(田中 榮一)

### 議会報調査編集特別委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 議長   | 横田 孝穂 |
| 委員長  | 太田 伸子 |
| 副委員長 | 加藤 亮輔 |
| 委員   | 松本喜美人 |
| 委員   | 伊藤まゆみ |
| 委員   | 篠崎久美子 |
| 委員   | 田中 榮一 |
| 委員   | 北澤禎二郎 |